

MADO-machine
the 1st performance

CELL/ AUTOMATIC

2025.5.2 FRI - 4 SUN

スタジオ HIKARI JR 桜木町駅から徒歩 8 分

生きているということについての、
説明をします。

2025.5.2 FRI - 4 SUN

タイムテーブル

	5/2 (金)	5/3 (土)	5/4 (日)
14:00	●	●	●
19:00	●	●	

- ・受付開始・開場は開演の30分前
- ・全席自由席・受付順に入場
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。
- ・車椅子でご来場の方は、予約の備考欄にご記入ください。

チケット

一般 3000 円
高校生以下 500 円

- ・予約 / 当日ともに共通価格 (現金精算のみ)
- ・高校生以下チケットをご購入の方は受付にて年齢のわかる証明書をご提示ください。



予約サイト
<https://shibai-engine.net/prism/webform.php?d=9fai6bhz>

反応の連続。細胞の集まり。私たちは自動的に生きている。生活者に対する膨大なアンケート。それらから現れる具体的な生活実態に基づきながら、透明化された生命活動を徹底的に説明する。いまここに生きていることを思い出すためのパフォーマンスの形式をとったパフォーマンス。

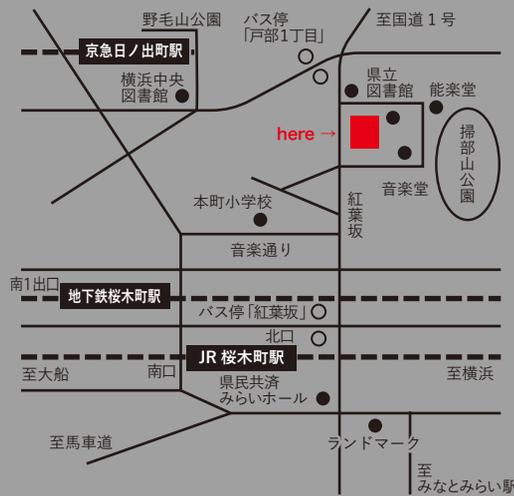
会場 / アクセス

スタジオ HIKARI (神奈川県立青少年センター内)

横浜市西区紅葉ヶ丘9番地の1

- ・JR 根岸線
「桜木町駅」北改札西口から徒歩約8分
- ・横浜市営地下鉄線
「桜木町駅」南1出口から徒歩約10分
- ・京浜急行線
「日ノ出町駅」から徒歩約13分
- ・みなとみらい線
「みなとみらい駅」
ランドマーク・クイーンズスクエア方面改札から徒歩約20分

※有料駐車場がございますが、駐車台数に限りがございます。ご来館際はできるだけ公共の交通機関をご利用ください。



キャスト

西山晴香

スタッフ

作・演出 川辺恵
音響 永田那由多
映像 十川明
照明・舞台監督 松林京子
宣伝美術 川辺実和
制作 白石ころ

MADO-machine

生きていることの不思議を共有するためのパフォーマンスを制作する川辺恵によるソロユニット。

川辺恵

1998年京都生まれ。京都芸術大学舞台芸術学科卒。「ラブの餓鬼道」で第5回田畑実戯曲賞受賞。「往復する点P」で第22回AAF戯曲賞特別賞受賞。生きていることのもつ逃れようのない恐怖を浮かび上がらせることを目標に、生活の細部に宿るリアリティを掬い上げ、世界の輪郭を解体していく。

お問合せ
madowmachine2024@gmail.com



X



Instagram



神奈川県文化プログラム
MAG
CUL
マガカル

本公演は、マガカルシアター参加公演です。
主催 神奈川県 MADO-machine

CELL/AUTOMATIC

MADO-machine
the 1st performance